

稲と田んぼに感謝を込めて



今年は猛暑目が続き、稲も人間も大変な年になりました。そんな過酷な環境の中でも、稲たちは「たくましく育ち」そして田んぼは全ての命土台となり「お米」という恵みを私たちに届けてくれました。



役目を終えた田んぼは、来年に向けて休養期間に入ります。毎年、「お米」という恵みをもたらせてくれる田んぼに今年も感謝したいと思います。

秋晴れの田んぼでの風景

トラクターで田んぼを耕していると、どこからともなく白鷺が1羽、また1羽と集まってきました。

まるでトラクターで白鷺の散歩をしているかのように後ろをついてきます。耕した後には虫やカエルなどの生き物が出てくるため、餌を求めて集まってくるんです。

特に、有機栽培の田んぼは生き物の宝庫ですので白鷺たちには最高の餌場です。

私たち、東町自然有機農法のシンボルでもある白鷺。

いつまでも共存し合えるような環境を守りながら、お米をつくってほしいと思います。



あぜ道だより